

区民意識調査による重点施策の見直し結果について

1. 区民意識調査の設問・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 施策の広報と設問との対比表・・・・・・・・ 5
3. 区民意識調査結果の分析・・・・・・・・ 1 1
4. 区民意識調査と重点施策の比較・・・・・・・・ 1 7

1. 区民意識調査の設問

1. 地域の生活環境の評価と今後の優先度

問4 以下の設問は、地域の生活環境を10のグループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿を表したものです。
 あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。

- ◎ 「最近の評価」の欄は、あてはまるところに、1つつ〇をつけてください。
- ◎ 「今後の優先度」の欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目の番号をご記入ください。
- ◎ もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。



グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			そとう ちら うか とい うと	いど えち なら いも	そど う ち 思 わ か な い う と	
① 福祉	1	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。 ※1～8の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	2	高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる	1	2	3	
	3	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、安心して利用できる	1	2	3	
	4	生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる	1	2	3	
	5	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる	1	2	3	
	6	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきと自己実現している	1	2	3	
	7	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	1	2	3	
	8	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている	1	2	3	
② 健康	9	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある	1	2	3	※9～12の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	10	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している	1	2	3	
	11	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	12	地域の医療機関やサービスが充実している	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度 各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
			そとうち思らうかというところ	いどえちならいとも	そとうち思わかないところ	
③ 子育て	13	家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている	1	2	3	※13～18の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	14	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	15	子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる	1	2	3	
	16	子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある	1	2	3	
	17	一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる	1	2	3	
	18	地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識が広がり、活動が行われている	1	2	3	
④ 教育	19	地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている	1	2	3	※19～25の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	20	子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている	1	2	3	
	21	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている	1	2	3	
	22	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	1	2	3	
	23	学校の周辺及び通学路が安全である	1	2	3	
	24	家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている	1	2	3	
	25	学校施設が地域に開放され、活動の場として活用されている	1	2	3	
⑤ コミュニティ・協働	26	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている	1	2	3	※26～32の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	27	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	
	28	町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている	1	2	3	
	29	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	30	地域で外国人との交流がある	1	2	3	
	31	地域社会において平和と人権が尊重されている	1	2	3	
	32	男女が共同で社会に参画できる	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度 各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
			そ ど ち ら う か と い う	い ど ち ら な い と も	そ ど ち ら わ か な い う	
⑥ 環 境	33	運動ができ、災害時にも有効な比較的大きな公園がある	1	2	3	※33～39の中から3つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	34	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	1	2	3	
	35	騒音、大気汚染などに悩まされることがない	1	2	3	
	36	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている	1	2	3	
	37	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	1	2	3	
	38	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	1	2	3	
	39	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	1	2	3	
⑦ 都 市 再 生	40	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	※40～49の中から3つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	41	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる	1	2	3	
	42	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	1	2	3	
	43	公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつづけるためのセーフティネットが確保されている	1	2	3	
	44	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	1	2	3	
	45	身近な生活道路が快適に通行できる	1	2	3	
	46	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少ない	1	2	3	
	47	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	
	48	広場、道路等がバリアフリー化され、池袋駅を中心とした東西の行き来がしやすくなっている	1	2	3	
	49	池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3	



グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度 各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
			そとうち思らうかというところ	いどえちならないとも	そとうち思わかないところ	
⑧ 安心・安全	50	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	※50～55の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	51	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています	1	2	3	
	52	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	53	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	1	2	3	
	54	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	
	55	交通事故が少ない	1	2	3	
⑨ 観光・産業	56	商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人を訪れている	1	2	3	※56～61の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	57	テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される	1	2	3	
	58	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる	1	2	3	
	59	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	1	2	3	
	60	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	1	2	3	
	61	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	1	2	3	
⑩ 文化	62	文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている	1	2	3	※62～69の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	63	文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である	1	2	3	
	64	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	
	65	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い	1	2	3	
	66	文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている	1	2	3	
	67	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある	1	2	3	
	68	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている	1	2	3	
	69	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	

2. 施策の方向と設問との対比表

1 すべての人が地域で共に生きていけるまち				
1-1 地域福祉の推進		22年度設問	19年度の設問	
1	福祉コミュニティの形成	区民の地域福祉活動への参加意欲が高まっており、NPOやボランティア団体の活動が活発となっています。地域住民、ボランティア、社会福祉協議会などの保健福祉関係団体、医療機関や社会福祉事業者等との連携を強め、福祉サービスを必要とする人の自立生活を支援できる福祉コミュニティづくりをすすめます。	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
2	地域ケアシステムの構築	地域住民の生活課題は、福祉、保健、医療その他様々な生活関連分野に及んでいます。在宅の介護や日常生活支援を必要とする方々に対して、複数のサービスを適切に組み合わせ、総合的に提供することができるしくみづくりをすすめます。	高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる	高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる
3	保健福祉サービスの利用支援と質の向上	介護保険制度や、障害者自立支援法による新たな障害福祉制度は、サービス利用者の自己選択、自己決定が基本となっています。サービス利用者への的確な情報を提供し、適切なサービスの選択ができるよう利用支援をすすめるとともに、良質なサービスが提供されるようしくみづくりをすすめます。	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、安心して利用できる	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、安心して利用できる
4	地域福祉と関係制度との連携	近年、生活保護世帯数が増加するなど生活困窮者の自立支援が大きな問題となっています。公的扶助を含めた社会保障制度を安定的に運用し、地域福祉施策との連携を図ります。	生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる	設定なし
1-2 高齢者・障害者の自立支援		22年度設問(案)	19年度の設問	
1	自立支援体制の整備	高齢化の進展に伴い、高齢者の単身者世帯の割合が他区に比べ、高い割合で増加しています。介護保険制度や障害者自立支援法などの導入及び精神保健福祉法の改正などの動向を踏まえ、高齢者や障害者の地域での自立した生活を支える自立支援サービスの提供とサービスの調整体制を整備します。	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる
2	介護予防の推進	軽度の機能低下により、日常生活に支障をきたす高齢者の増加が社会問題にまでなっています。老化の早期発見につとめ、体力維持のためのさまざまな手立てや環境面での配慮を含め、可能な限り制限や制約の少ない状態により自立した活動や社会参加が可能となるような介護予防の仕組みづくりをすすめます。	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある
3	社会参加の促進	高齢者になってでもできるだけ自立し、生活を楽しまたいと思う人が増えています。障害や年齢にかかわらず、いきいきと地域の中で自立し、生きがいをもって社会参加できるよう、地域拠点づくりなど条件整備をすすめます。	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきと自己実現している	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきと自己実現している
4	福祉サービス等の基盤整備	介護保険制度導入後、施設利用の希望者が増加しています。介護保険及び自立支援サービスの量的確保や質的向上を図るため、多様な事業者の参入を促進し、協働体制を構築するとともに支援策を充実します。	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている
			設定なし	公共施設や駅・道路など、街のバリアフリー化が進んでいる
1-3 健康		22年度設問(案)	19年度の設問	
1	健康づくりの推進	区民一人ひとりが病気にならないよう、またたとえ病気や加齢による障害があったとしても、できる限り病気や加齢による障害が進行しないように、各人が個性や能力に応じた日頃からの健康づくりが重要です。こうした個人の力と併せて区や関係団体、地域が区民の主体的な健康づくりを支援し、すべての区民が健康で心豊かに暮らせる健康なまちの実現をめざします。	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある
2	多様化する保健課題への対応	児童や高齢者への虐待、ストレスの増加による心の問題や自殺者の増加、アレルギー疾患の増加など、健康に対する問題が多様化しています。母子保健・精神保健・歯科保健・公費保健など特定の分野における新たな課題に即応した保健施策を推進します。	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している
3	健康危機管理	新興・再興感染症発生時の対応、HIV感染者・エイズ患者の増加・多剤耐性結核の問題、医薬品医療機器等の安全・食中毒や健康食品等の食品安全・飲料水の安全などの問題による健康危機への対応や、さらに重大な健康危機として災害や生物テロ、新型インフルエンザへの対応が求められています。生活環境面での健康対策を推進するとともに、こうした事態の予防や被害の拡大防止、被害者の心のケアのために迅速な対応がとれるように、関係機関との連携の下に健康危機管理体制を整備します。	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
4	地域医療の充実	高齢化の進展や疾病構造の変化等により、救急医療の需要は増加傾向にあります。また、小児救急医療体制の整備も課題となっています。子どもから高齢者まで、誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を受けられる体制づくりを推進するとともに、都と医療関係機関と連携して患者中心の医療を実現します。	地域の医療機関やサービスが充実している	地域の医療機関やサービスが充実している

2 子どもを共に育むまち

2-1 子どもの権利保障		22年度設問(案)	19年度の設問
1	子どもの権利の確立	平成6年、我が国においても「児童の権利に関する条約」が批准されました。この条約では、子どもを権利の主体とすることが、子どもの健やかな発達・成長を保障する前提とされています。条約に関する理解の促進を図りながら、子どもの意見を十分に反映させ、「豊島区子どもの権利に関する条例」づくりをすすめます。	家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている
2	安全な生活の保障	いじめや虐待が大きな社会問題となっています。悩みをもつ子どもが気軽に相談できる体制を整備するとともに、いじめや虐待から子どもを守るサポートシステムを構築します。	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている
3	遊びと交流の保障	少子化に加え、塾や習い事通いにより友だちと遊んだり、交流する機会が少なくなるなど、子どもをとりまく環境が様変わりしています。そのような中で、子どもの発達や成長に応じた居場所、遊び場、遊ぶ仲間を確保するため、放課後や学校休業日等に、保護者の就労に関わりなく全児童を対象とする、子ども同士の遊びと交流の場を整備します。	子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる
2-2 子育て環境の充実		22年度設問(案)	19年度の設問
1	総合相談体制の推進	子育てに関する相談内容が多様化、複雑化するとともに相談件数も増加しています。だれもが安心して子育てができるよう、相談体制や保護者に対する支援、そして情報交換機能を強化するとともに、関係機関のネットワークを充実させます。	子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある
2	多様な保育ニーズへの対応	仕事と子育ての両立を支援する観点から、多様化する保育ニーズへの対応が求められています。また、子育てに不安や悩みを抱え孤立化する保護者への支援策も急務となっています。家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービスを充実させるとともに、子育て家庭の交流を促進していきます。	一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる
3	サービス提供システムの整備	子育てに関する区民のニーズが多様化する中、常に、より充実した子育て支援サービスの提供を図りつつ、多様な担い手との協働体制を強化します。	地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識が広がり、活動が行われている
2-3 幼児教育		22年度設問(案)	19年度の設問
1	幼児教育の振興	幼稚園と保育園との連携を図りながら、生きる力の基礎や学校教育に向けた生活及び学習の基礎を培うという基本に立って、「豊島区幼児教育振興計画」に基づき、教育活動及び教育環境の充実を図ります。	地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている
2-4 学校における教育		22年度設問(案)	19年度の設問
1	生きる力を育む教育の推進	児童・生徒の学ぶ意欲や前向きに生きていこうとする意欲の低下が課題となっています。子どもの主体的な「学び」を支援し、基礎・基本の着実な定着を図るとともに、発達段階に応じた創造性や協調性を育成するため、教育内容の充実を図ります。	子どもの基礎的な学力が高まっている 子どものしなやかな心と体が育成され、豊かな人間性が身についている
2	魅力ある学校作り	平成16年度の区立小学校卒業者の約1/3が私立中学校に進学するなど、区立中学校離れがすすんでいます。時代の変化に応じた教育制度・内容への取り組みを区民参画のもとですすめるとともに、学校と保護者や地域住民との連携を強め、地域に根ざした特色ある学校づくりを推進します。	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている
3	教育環境の整備	区立小中学校の校舎の多くは昭和30年代に建築されており、全体的に老朽化が進んでいます。また、IT化や学校の環境衛生面、安全面などの新たな課題への対応が求められています。多様化しつつある教育内容・方法に柔軟に対応し、教育効果の向上を図るとともに、安全で健やかな学習・生活環境を保持するため、老朽化した校舎等の計画的な改築・改修や設備の充実をすすめるなど教育環境の整備に努めます。	小中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている
4	学校に関わる安全対策	近年、各地で学校の安全を脅かす事件が多発しております。そこで、子供たちや教職員が安心して学校生活や教育指導がおくれるよう、設備の整備を図ると共に、児童・生徒が自ら危機を察し、適切な判断や行動選択が行える防犯教育を推進していきます。また、学校、家庭、関係機関、地域と連携して、学校の安全な管理運営に努めます。	学校の周辺及び通学路が安全である
2-5 地域における教育		22年度設問(案)	19年度の設問
1	家庭・地域の教育活動の推進	平成14年度からの学校週5日制の実施により、子どもの学校外での活動や学習の機会が増大しました。子どものしつけなど人生最初の教師ともいえる家庭や地域の役割をもう一度見直し、学校との連携をとりつつ、PTAや青少年健全育成団体の活動を支援するとともに、保護者相談の場の充実など家庭や地域における教育力の向上を図ります。	家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている
2	地域に開かれた学校の推進	学校施設を地域に開放し、世代を越えた交流につながる地域活動の場として、有効活用をすすめます。	学校施設が地域に開放され、活動の場として活用されている

3 多様なコミュニティがあるまち

3-1 心触れ合うコミュニティの形成

		22年度設問(案)	19年度の設問
1	地域活動への参加促進	地域活動に関する情報の共有化を進め、区民の地域活動への参加意識を高め、多様なライフスタイルに応じて気軽に参加できる環境整備を図ります。	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている
2	地域住民相互の交流の促進	「地域区民ひろば」構想を軸として、地域住民の交流拠点を整備し、世代間交流を図ります。	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
3	地域活動の活性化と連携の促進	既存の地域活動団体に対して必要な支援を行うとともに、地域課題に関する情報の共有化を図り、団体相互の連携を促進します。また、ボランティア活動への関心を高め、地域活動の担い手や活動のリーダーシップをとるキーパーソンの育成を支援します。さらに、区民が自主的に取り組む多様な活動に対する中間支援機能を整備し、活動のネットワーク化を図ります。	町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている
4	協働の仕組みづくり	区と地域の多様な主体との協働、そして地域の多様な主体相互の協働を広げていくため、区民活動団体、NPO、ボランティア等が行う公益的活動や、新たな協働に向けた取り組みを支援する仕組みづくりを進めます。	さまざまな地域活動団体や企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
5	外国人との共生	豊島区は、外国人登録者が人口の6.1%（平成18年1月1日現在）を占めるなど、多くの外国人が暮らしています。人種や国籍などを問わず、共に豊島区に暮らす区民として、共に地域を創っていくための環境を整備します。	地域で外国人との交流がある

3-2 平和・人権

		22年度設問(案)	19年度の設問
1	平和と人権の尊重	豊かな地域社会の基盤をなす、平和を大切にすることを育んでいきます。また、人と人との交流を大切に、お互いに相手を思いやり、尊重する地域社会を築きます。	地域社会において平和と人権が尊重されている

3-3 男女

		22年度設問(案)	19年度の設問
1	男女共同参画社会の条件整備	男女がともに、その個性と能力を存分に発揮できるよう、区民の意識改革をすすめます。また、あらゆる場における男女共同参画の意識の普及・啓発、人権侵害の禁止、職業と家庭生活の調和のとれた環境づくりなど、条件整備を推進します。さらに、その実現のため、関連機関との連携を積極的に図ります。	男女が共同で社会に参画できる

4 みどりのネットワークを形成する環境のまち

4-1 みどりの創造・保全

		22年度設問(案)	19年度の設問
1	みどりの拠点拡大	本区は、人口一人当たり公園面積、区面積に占める公園面積率では、23区中最下位ですが、区面積当たり公園設置数では第1位であり、狭い公園が多くなっています。公園が持つさまざまな機能を基本に、だれもが快適に集い、憩える、みどり豊かな公園等の拡大をめざします。また、街路や寺社、歴史的資源などみどりの拠点の保存、拡大に努めるとともに、公共施設の緑化を率先してすすめます。	運動ができ、災害にも有効な比較的大規模の大きな公園がある
2	みどりのネットワーク	住宅が密集している地域では、狭い街路が多く、防災の観点からも、ブロック塀等に代わる生垣等の緑化に関心が寄せられています。大規模な緑地帯を有しない豊島区において、都市の魅力を高め、快適な生活空間をつくり出していくため、公園をはじめ、大学や寺社などの緑地をみどり豊かな道路で結び、四季感あふれるみどりと広場のネットワークを形成します。また、みどりを愛する心の醸成に努めるとともに、区民団体やNPOなど広く人的なネットワークの形成をすすめます。	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い 小鳥や昆虫、植物など、自然と四季を感じることができる みどりを大切に守り、育てようとする意識が高まっている

4-2 環境の保全

		22年度設問(案)	19年度の設問
1	都市公害の防止	区内の幹線道路沿道や交通量の多い交差点での騒音や二酸化窒素などの環境基準の達成状況は厳しい状況で推移しています。こうした中、東京都では環境確保条例（略称）により、ディーゼル車に対する規制を平成15年10月から開始しています。多様化する都市公害に対応し、安全で健康な生活環境を確保するため、規制・誘導をすすめ、環境基準の達成を目指します。	騒音、大気汚染などに悩まされることがない
2	都市環境の保全	温室効果ガスの排出量は増加し続けており、温暖化をはじめ地球環境の悪化が問題となっています。化石燃料の使用軽減を図るため、区民、事業者と連携し、環境意識を高めていくとともに、省エネ誘導の都市づくりを推進します。また、環境問題やエネルギーに関する啓発に積極的に取り組みます。	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている
3	地域美化の推進	街の美化に対する区民の関心、要望が高まりを見せる中、区民等との協働による啓発活動や環境美化活動への取組みが進んでいます。街の美化に対する区民の意識の向上を図るとともに、区民・事業者・団体等との連携による地域一体となった環境美化を推進します。	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくなっている

4-3 リサイクル・清掃事業の推進		22年度設問(案)	19年度の設問
1	ごみ減量・リサイクルの推進 近年、区内のごみ量は、家庭ごみは減少傾向にあるものの事業系ごみの量は横ばい傾向にあり、この減量・排出抑制が大きな課題となっています。資源循環型社会の構築をめざし、ごみ減量・リサイクルの推進、再生品の使用等に関する意識啓発に努めるとともに、区民・事業者・行政が一体となって資源のリサイクルを地域の中に広げ、育んでいきます。	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている
2	資源循環型清掃事業の推進 最終処分場や清掃工場の問題、更には拡大生産者責任のあり方等清掃事業を巡る状況は大きく変化しています。一方、地域においては、地域実態に応じたきめ細やかな清掃事業・資源回収の推進が求められています。こうした動向を見極めながら、ごみの減量、リサイクルを中心とした資源循環型清掃事業を実現します。	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	
5 人間優先の基盤が整備された、安全、安心のまち			
5-1 魅力ある街づくりの推進		22年度設問(案)	19年度の設問
1	秩序ある市街地更新 地価の下落や建築規制の緩和等により、居住機能の回帰がすすみ、住居系高層建築物の建設が拡大する傾向にあります。市街地整備にあたっては、用途地域等の指定や地区計画等を活用して、住居系地域では良好な居住環境の保全を図るとともに、商業・業務と住居等が混在する複合市街地では、土地利用の適切な調和を図っていきます。また、池袋副都心や地区の中心地では、再開発等の都市開発諸制度を活用し、基盤整備をすすめながら商業・業務機能の秩序ある発展をすすめます。	地域特性にあわせてまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	地域特性にあわせてまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
2	個性ある快適なまちづくり 街並みや景観はもとより、自然、文化、歴史、にぎわいなどの地域財産を生かすとともに、人にやさしいまちづくりを推進しながら、個性ある快適なまちの形成を図ります。区民や事業者との参加と協働のもと、地域の個性を生かした愛着と誇りを感じられるまちづくりをすすめ、次々に引き継いでいきます。	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じる事ができる	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じる事ができる
3	池袋副都心の再生 池袋駅周辺地区は、駅を中心とした商業機能集積が高いため、駅周辺で訪れる人の活動が完結しがちで、池袋全体の発展へとつながっていません。多様な手段・手法を活用し、広域的な商業業務、生活、交流、文化活動等の拠点として育成・整備をすすめていきます。また、ユニバーサルデザインの理念に基づく都市環境を整備するとともに、まちのシンボルとして、低床型路面電車（LRT）の導入などを検討し、魅力的な副都心を創造していきます。	1 広場、道路等がバリアフリー化され、池袋駅を中心とした東西の行き来がしやすくなっている 2 池袋周辺で、新宿、渋谷などにない魅力あるまちづくりが進んでいる	1 駅や広場、道路等がバリアフリー化され、案内表示もわかりやすく、誰もが快適に歩くことができる 2 駅の東西を結ぶ機能が高まり、副都心の回遊性が向上している 3 再開発の進展や新たな建物の建設等により、風格ある街並みがつくられている 4 文化芸術、商業施設が充実し、魅力あるイベントも催されるなど、年間を通じてにぎわっている 5 ポイ捨てや落書き等がなく、道路や街路が清潔である 6 治安がよく、マナーやモラルが守られていて安心できる 7 新宿、渋谷などの他の副都心にはない魅力を育てるまちづくりが進んでいる
4	活力ある地域拠点の整備 区内には、JRをはじめ、さまざまな交通機関の拠点多く存在しています。池袋以外の駅周辺地区では、地域の生活拠点として駅の利便性の向上を図るとともに、すべての人が利用しやすいように駅の利便性の向上を図るとともに、地域の歴史や個性を生かした駅周辺の広場や歩行者空間などの整備を一体的に進めます。	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくなっている	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくなっている
5-2 魅力ある都心居住づくり		22年度設問(案)	19年度の設問
1	安心居住の仕組みづくり 高齢社会において、高齢者、障害者が住み慣れた地域で自立して暮らしていることができるよう、バリアフリー住宅やユニバーサルデザインのまちづくりに配慮した、安心居住の仕組みづくりを進めます。真に住宅に困窮する世帯への区営住宅、福祉住宅の供給や高齢者に対する住替え家賃の助成など、住み慣れた地域の中で暮らしていきけることができるよう、居住に関するセーフティネットを確保していきます。	公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつけるためのセーフティネットが確保されている	公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつけるためのセーフティネットが確保されている
2	良質な住宅の供給誘導 ライフステージに応じて円滑な住替えができるよう、多様な住宅ストックの形成を進めることにより、定住するファミリー世帯を増やしていきます。また、ユニバーサルデザインや環境共生に対応した質の高い住宅やバランスの取れた住宅ストックの形成誘導を図るため、住まいづくりを支援・誘導していきます。さらに、住宅地の特性や課題に応じ、将来像を明確にしながら暮らしやすい良好な住環境の整備を誘導していきます。	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている
5-3 交通体系の整備		22年度設問(案)	19年度の設問
1	道路・橋梁の整備と維持保全 豊島区は、4メートル未満の道路に接する住宅の割合が23区中トップの状況にあるなど、狭い道路が多く、都市基盤が脆弱な状況となっています。災害時の延焼遮断帯や避難路となる都市計画道路の整備をすすめるとともに、身近な生活道路を地域の特性及びユニバーサルデザインに配慮しながら整備し、体系的な道路網を形成します。また、歩行者や車両が安全で快適に通行できるよう橋梁の整備をすすめるとともに、踏切での歩行者の利便性を向上するための立体横断施設を整備します。	身近な生活道路が快適に通行できる	身近な生活道路が快適に通行できる
2	自転車・自動車対策の推進 放置自転車や違法駐車による渋滞が社会問題化しています。また繁華街では荷捌き車両の停車が交通の妨害になっています。区民、事業者、行政が協力し、意識啓発をはじめとする自転車・自動車対策を推進するとともに、交通安全対策を充実します。一方、環境負荷が少ない自転車の特性を活用し、だれもが快適に安心して自転車に乗ることができる環境を整備します。	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている
3	公共交通の整備 高齢化社会の進展、地球環境問題の観点から、公共交通の役割がますます大きくなっていきます。地下鉄13号線の早期開通を図るとともに、身近な交通手段であるバス交通の利便性の向上に関係機関と協議していきます。	鉄道・バス等の交通が便利である	鉄道・バス等の交通が便利である

5-4 災害に強いまちづくりの推進		22年度設問(案)	19年度の設問
1	防災行動力の向上と連携	「協働のまちづくりに関する区民意識調査(平成17年3月実施)」によると、区民の約4割が防災対策に力を入れてほしいと答えています。今後、防災意識の普及啓発をすすめるとともに、「自らのまちは自らの手で守る」ため地域防災組織をより一層充実させていきます。また、防災ボランティアをはじめ各種ボランティア団体との協働や既存の地域防災組織との連携を強化し、地域の防災行動力の向上を図ります。	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
2	応急・復興活動を円滑に行う体制の整備	災害時に効率かつ効果的に応急活動を実施するため、災害対策本部機能や備蓄・防災資機材等を充実させるとともに、医療機関や消防・警察などの防災関係機関相互の連携を強化します。また、近隣自治体や地方都市との防災協定をすすめ、広域的な相互支援体制を構築します。さらに、区内の各種団体との防災協定をすすめ、復旧・復興を迅速かつ着実に推進できる体制を整備します。	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています
3	災害に強い都市空間の形成	区内の住宅密集地域では、狭い道路や行き止まり道路が多く、4m、6m以上の道路が不足していることから、震災時の延焼による大規模火災が懸念されます。災害による被害を最小限にとどめるため、木造住宅密集地域内の都市計画道路については、早期整備を図り、道路整備と併せて沿道地区の不燃化や狭い道路の改善を行います。また、地域住民の生命を守るため、避難道路や避難場所、救援センターの安全性の確保等に努めます。	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる
4	総合治水対策の推進	近年1時間に100ミリを超えるような集中豪雨による都市型水害が発生し、大きな被害をもたらしています。そこで、河川等の整備や雨水流出抑制対策を総合的に推進し、治水機能の向上を図ります。	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない
5-5 身近な安心安全の確保		22年度設問(案)	19年度の設問
1	治安対策	区内では、ひったくり、置き引き、侵入窃盗等の事件が多く発生し、住民の日常生活への不安が解消されない一方、「風俗無料案内所」が急増し、区のイメージにも損失を与えています。犯罪のない、だれもが安心して暮らせるまちを実現するため、地域住民や各種団体、事業者、警察その他関係機関との連携により、地域の安全活動に取り組めます。	治安がよく、安心して暮らせる 青少年の健全な育成を阻害する社会環境が改善されている
2	交通安全対策	平成7年と16年を比較すると、区における交通事故死亡者は減少しているものの、交通事故発生件数及び負傷者数は増加しており、約2.0倍になっています。特に、自転車乗車時の事故負傷者が増えているのが特徴です。急速な高齢化の進展と、ノーマライゼーションの考え方も広がり、道路の機能改善が求められています。また、通称「交通バリアフリー法」の制定により、自治体の役割は大きくなりました。児童や生徒などの通学路安全対策、高齢者や障害者の安全性を確保するため、区民、事業所、行政などが協力し、交通安全対策をすすめます。	交通事故が少ない
6 魅力と活力にあふれる、にぎわいのまち			
6-1 都市の魅力による集客力の向上		22年度設問(案)	19年度の設問
1	にぎわい魅力 商工都市の形成	商業統計調査によると平成14年の区の卸売・小売業の販売額は、この5年間で2.8%の減少となっています。人々が魅力を感じ、多くの人が訪れる都市を実現するため、にぎわいの中心である池袋の活性化とイメージアップを図ります。また、区内の各地域の商業拠点における集客の拡大を図ります。	魅力ある店舗や観光スポットが多く、祭りなどのイベントも活発に行われて、まちがにぎわっている
2	観光まちづくりの推進	区内JR駅の年間乗車人員を見ると、他区の駅に比べ、減少率が大きくなっています。芸術と文化に彩られた独自の歴史を持つ区として、多様な目的を持った内外のビジター(訪問者)を快く受け入れ、楽しさと満足、やさしさと親しみを感じられる都市を目指します。	テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される
3	都市交流の推進	豊島区は、これまで内外の都市とのさまざまな交流を積極的に進めてきました。これまで培ってきた各都市との交流を区の魅力の向上につなげるとともに、多くの外国人が住み、暮らす特性を生かし、国際的な交流都市としての取り組みを進めます。	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる
6-2 産業振興による都市活力創出		22年度設問(案)	19年度の設問
1	新たなビジネス 展開の支援	IT化の急速な進展を受け、IT関連産業の伸びが顕著となっています。産業活力のバロメーターともいえる開業率の向上をめざし、人材育成、起業環境の整備、定着の促進などをすすめます。また、NPO、社会福祉法人等によるコミュニティビジネスを支援します。	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている
2	地域産業の活性化	地域における商店街の活性化を図るため、空き店舗対策、バリアフリー対応施設整備、IT活用など個店、商店街が取り組む活性化事業を支援します。また、商店街や地域が一体となって取り組む商業イベントを支援します。さらに、製造業の再生を図るため、同業・異業種交流の促進、取引範囲の拡大支援、融資制度の充実などを実施します。	印刷業など、中小の地場産業が元気に事業展開している 身近な地域に、活力ある商店街がある
3	消費者権利の 実現支援	近年、区の消費生活相談の件数が増加傾向にあります。適切な相談が受けられるよう体制を整備するとともに、消費生活に関する必要な情報と消費者教育の機会を提供することにより、消費者の権利を実現し、その自立を促進します。	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している

7 伝統・文化と新たな息吹が融合する文化の風薫るまち

7-1 文化によるまちづくりの推進		22年度設問(案)	19年度の設問
1	文化によるまちの活性化	豊島区固有の文化資源の再発見と保護に努め、その積極的な活用を図るとともに、文化関連産業等の活性化を支援します。また、芸術・文化はもとより、まちづくりや産業、観光、教育、子ども施策等、豊島区らしさを大切にしながら、総合的な文化政策を推進し、地域を活性化させていきます。さらに、文化を基軸とした地域コミュニティの形成と促進を図りながら、区民一人ひとりが暮らしの中に豊かさや潤いを見出すことのできる活力あるまちづくりをめざします。	文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている
2	新たな芸術・文化の創出	区内には、池袋モンパルナスをはじめ、児童文学、演劇、マンガ文化など文化・芸術活動の歴史や多くの文化資源が点在しています。こうした文化資源や文化・芸術活動を相互に結びつけ、それぞれが関連をもち、影響しあいながら新しいものが創出される仕掛けをつくります。また、さまざまな分野との交流による相乗効果を発揮させるとともに、他都市・地域との文化交流を積極的にすすめます。	文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である
3	伝統文化の継承	豊島区には歴史に裏づけられた文化資源が数多く存在します。芸術作品や文化財、文化・芸術活動、まちのにぎわいなど、様々な文化資源の魅力をわかりやすく伝える工夫を行いながら、区の内外に発信していきます。また、地域に根付き、育まれてきた伝統文化の保存・継承に努めるとともに、地域のまつりやイベントを支援していきます。	歴史的な文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
7-2 芸術・文化の振興		22年度設問(案)	19年度の設問
1	芸術・文化鑑賞機会の充実	既存の文化施設や東池袋交流施設（仮称）を文化芸術創造の拠点としてより有効に活用するための取り組みを積極的に図り、東京芸術劇場や民間の劇場、映画館等との連携をすすめるながら、区民が優れた芸術・文化を鑑賞する機会を拡充します。また、芸術・文化活動団体や文化人、アーティスト等との連携により、区民が身近に芸術・文化に接する機会を拡充を図ります。	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い
2	芸術・文化活動機会の充実	区民の自主的な芸術・文化活動が活発に展開できるよう、活動の場の整備・提供に努めます。さらに、文化・芸術関連のNPOやアーティスト等が制作、創造を行うための環境を整備するほか、地域の文化活動指導者等、多様な分野で文化を担う人材の育成を図ります。	文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている
7-3 生涯学習・生涯スポーツの推進		22年度設問(案)	19年度の設問
1	生涯学習の環境整備	IT化の急速な進展など生涯学習施設における新たなニーズへの対応が求められています。身近な使い勝手のよい生涯学習の場づくりをすすめ、そこを拠点に子どもから高齢者まで幅広い世代の人々が世代を越えて共に学び、ふれあう空間を形成します。	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある
2	個の学びから社会的な学習活動への転換	学習が自己完結に留まるのではなく、学習過程や学習の成果を、社会に生かし、自ら社会参画しながら学びあう仕組みづくりやネットワークの構築を図ります。	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている
3	スポーツ・レクリエーション活動の充実	高齢化の進展などにより、健康づくりに対する関心が高まりを見せ、スポーツ・レクリエーションへの需要が増大しています。地域を中心としたスポーツクラブ活動の普及・振興、青少年スポーツの活性化や活動の場の確保など、地域における区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動への支援を充実します。	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある

3. 区民意識調査結果の分析

10のグループごとに、「最近の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この二つの評価を軸として、総合分析を行った。

【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■最近の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか）

各項目の加重平均値

$$= (\text{「どちらかというと思う」の回答者数} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかというと思わない」の回答者数} \times -1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

■今後の優先度

各項目の回答割合（％）

■基準軸の設定

○最近の評価＝0（ゼロ）を基準

○今後の優先度＝グループごとの各項目の平均優先度を基準

「最近の評価」を縦軸、「今後の優先度」を横軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

「最近の評価」の軸 (+) (-)	C 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い ○最近の評価 (+) プラス ▲各項目の優先度 (<) 平均優先度	A 最近の評価も、今後の優先度も高い ○最近の評価 (+) プラス ○各項目の優先度 (>) 平均優先度
	D 最近の評価も、今後の優先度も低い ▲最近の評価 (-) マイナス ▲各項目の優先度 (<) 平均優先度	B 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い ▲最近の評価 (-) マイナス ○各項目の優先度 (>) 平均優先度
	(-)	(+)
	「今後の優先度」の軸	

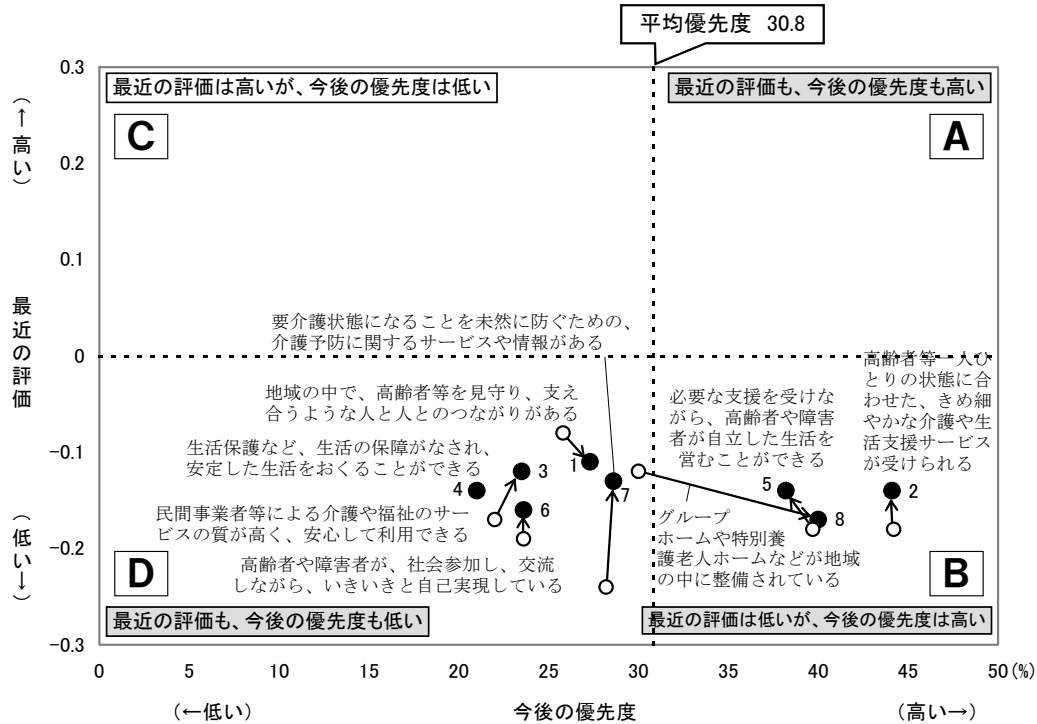
上記のチャート図において、右下に位置していればいるほど、「最近の評価が低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

B	評価 低 かつ 優先度 高	行政として重点的に取り組む
A	評価 高 かつ 優先度 高	現状維持
D	評価 低 かつ 優先度 低	
C	評価 高 かつ 優先度 低	行政の役割は小さい

●が今回調査、○が前回調査、前回から今回への推移を矢印で表している。なお、前回調査から①福祉などのグループに含まれる項目を一部変更しているため、選択数を限定した「今後の優先度」の数値については参考とする。

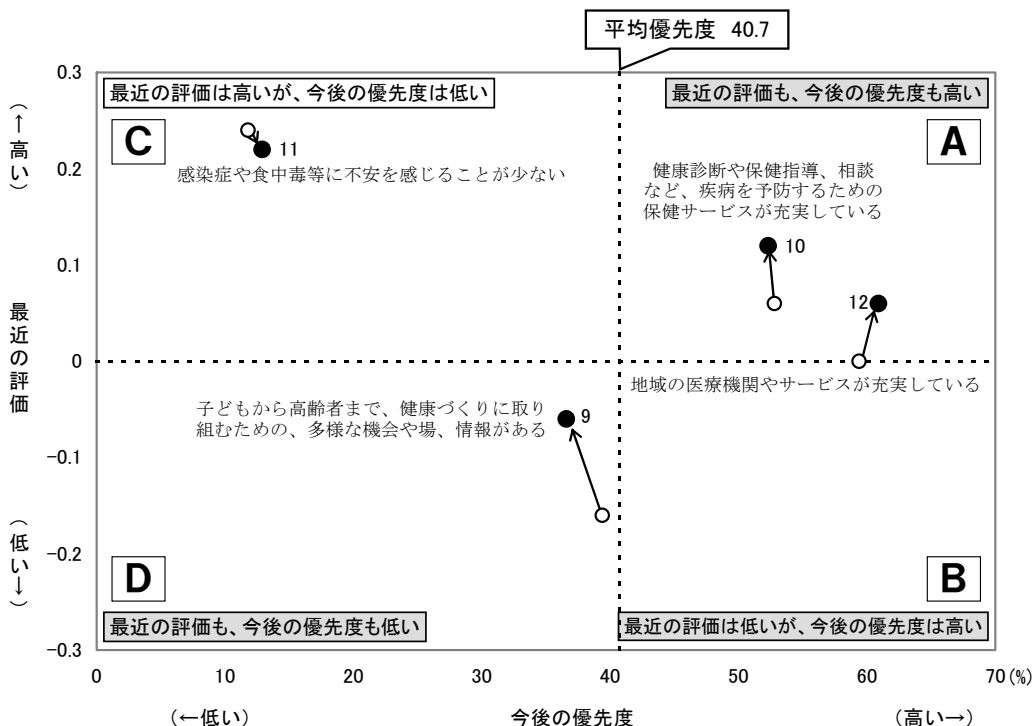
① 福祉

- 福祉に関する生活環境では、「グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている」の優先度が高くなり、「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」から「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。



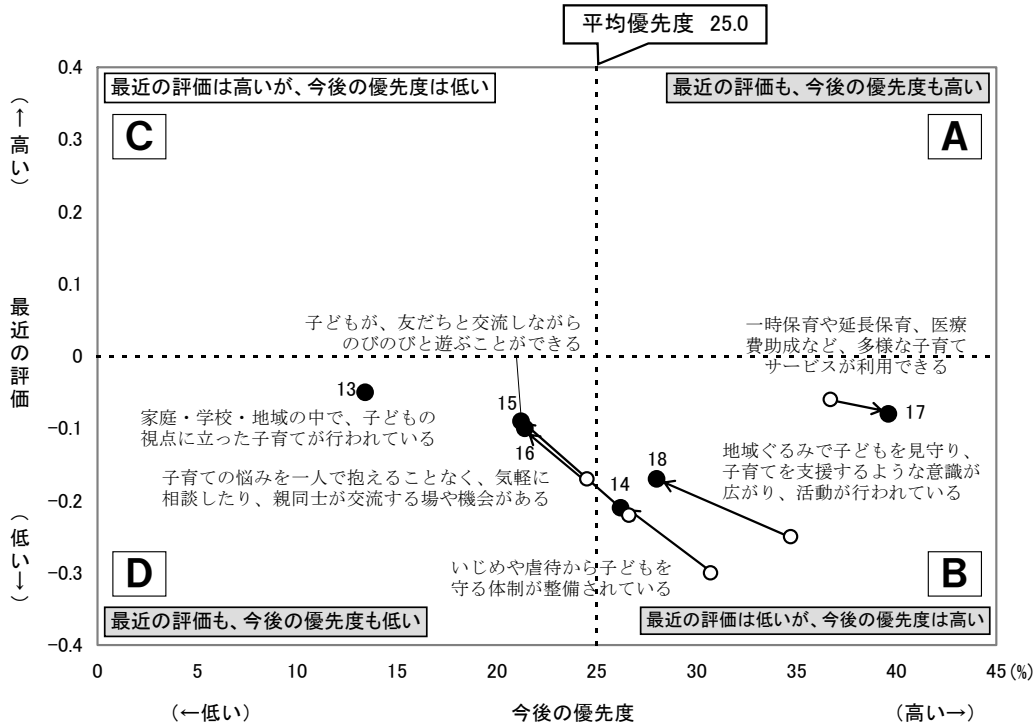
② 健康

- 健康に関する生活環境では、大きな違いはみられない。



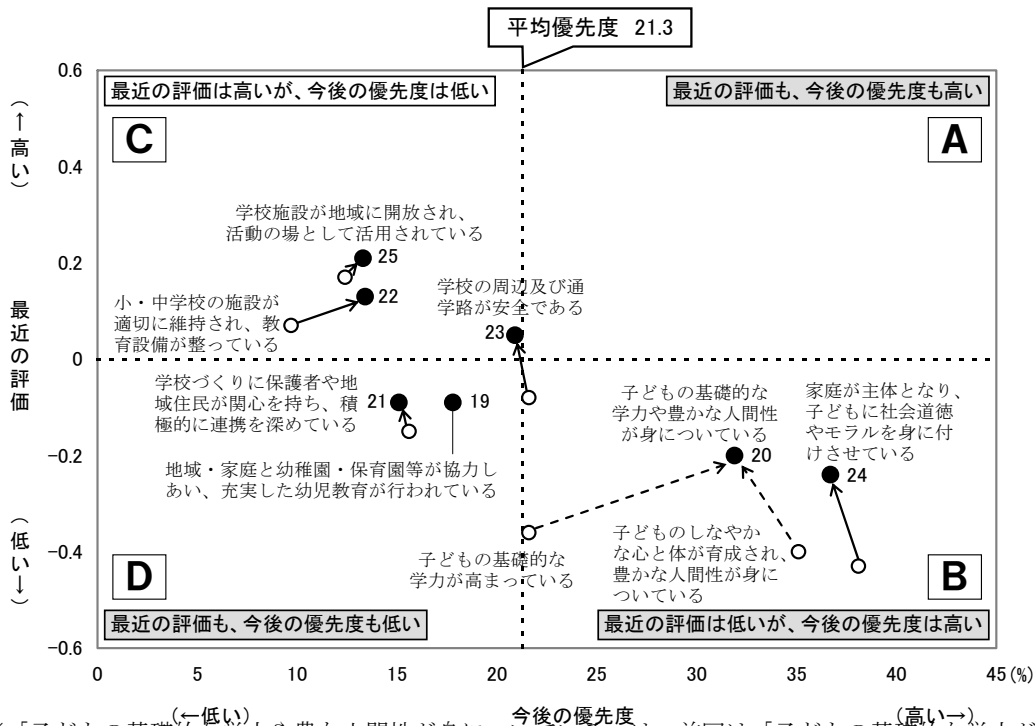
③ 子育て

- 子育てに関する生活環境では、「子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる」が「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。



④ 教育

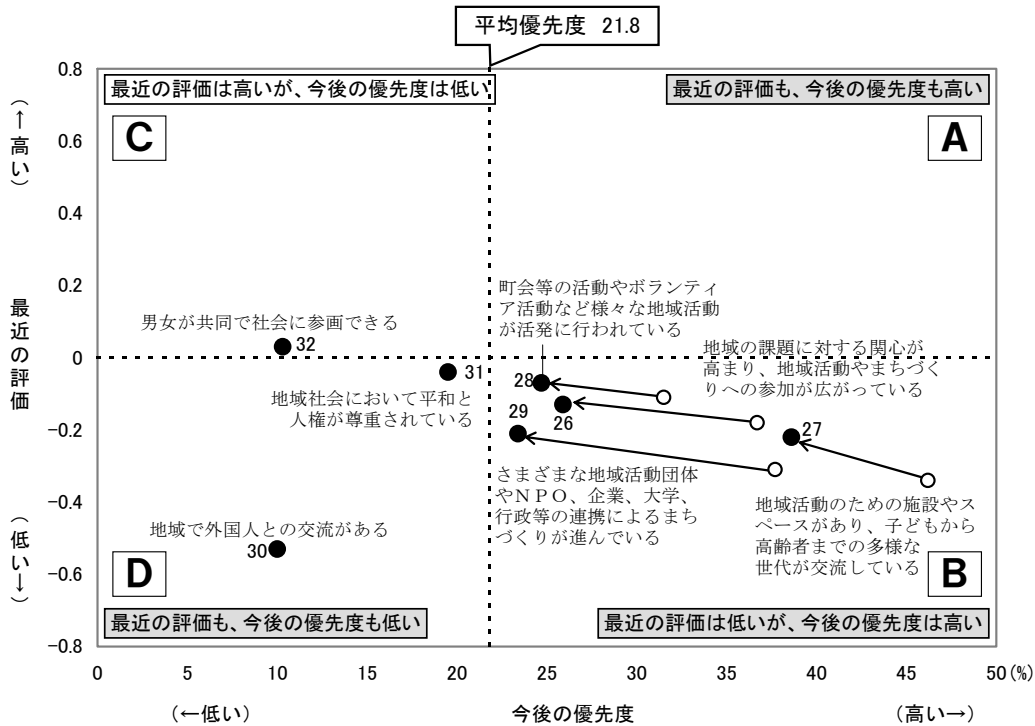
- 教育に関する生活環境では、「学校の周辺及び通学路が安全である」の最近の評価が高くなり、「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(C) 最近の評価は高い、今後の優先度は低い」へ移動した。



※ 「子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている」は、前は「子どもの基礎的な学力が高まっている」と「子どものしなやかな心と身体が育成され、豊かな人間性が身についている」であった。

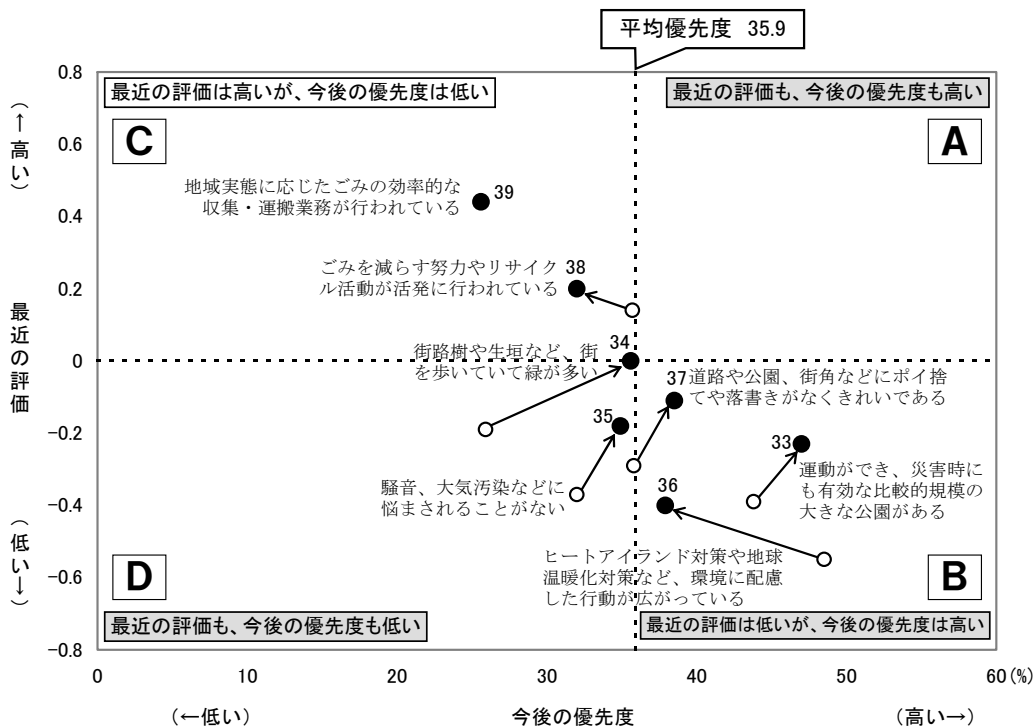
⑤ コミュニティ・協働

- コミュニティ・協働に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



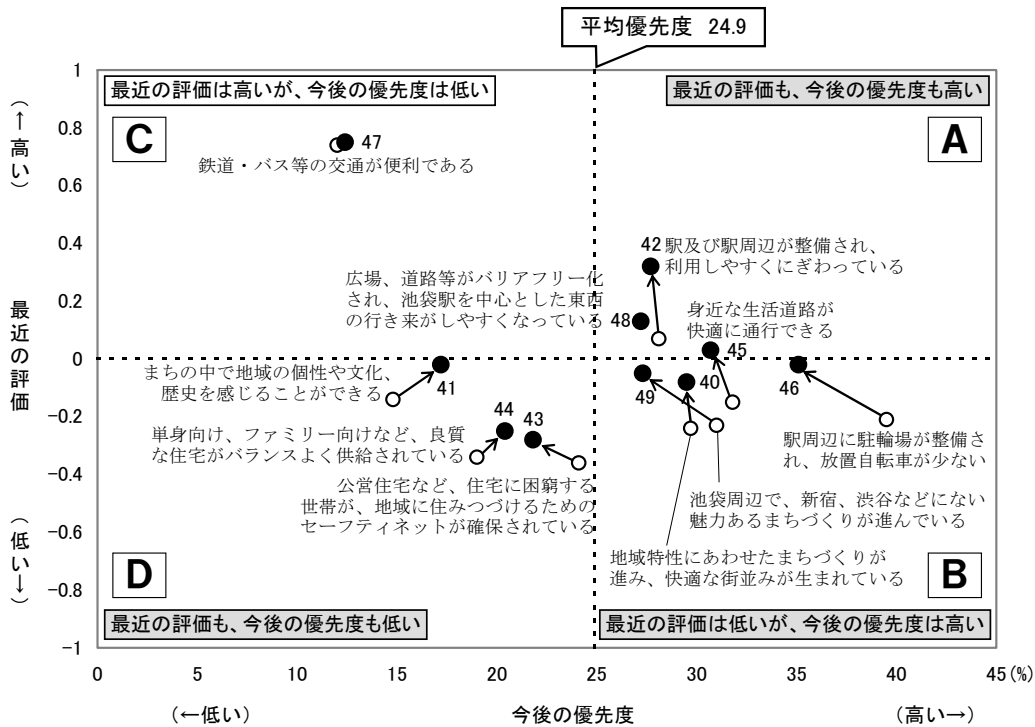
⑥ 環境

- 環境に関する生活環境では、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」から「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。



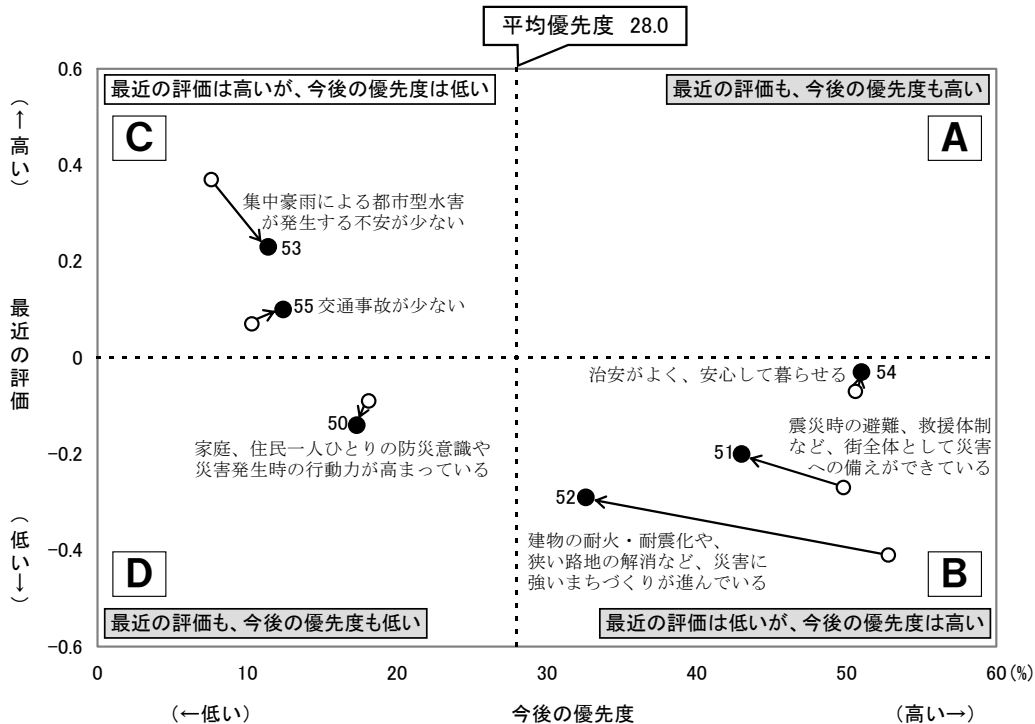
⑦ 都市再生

- 都市再生に関する生活環境では、「身近な生活道路が快適に通行できる」が「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。



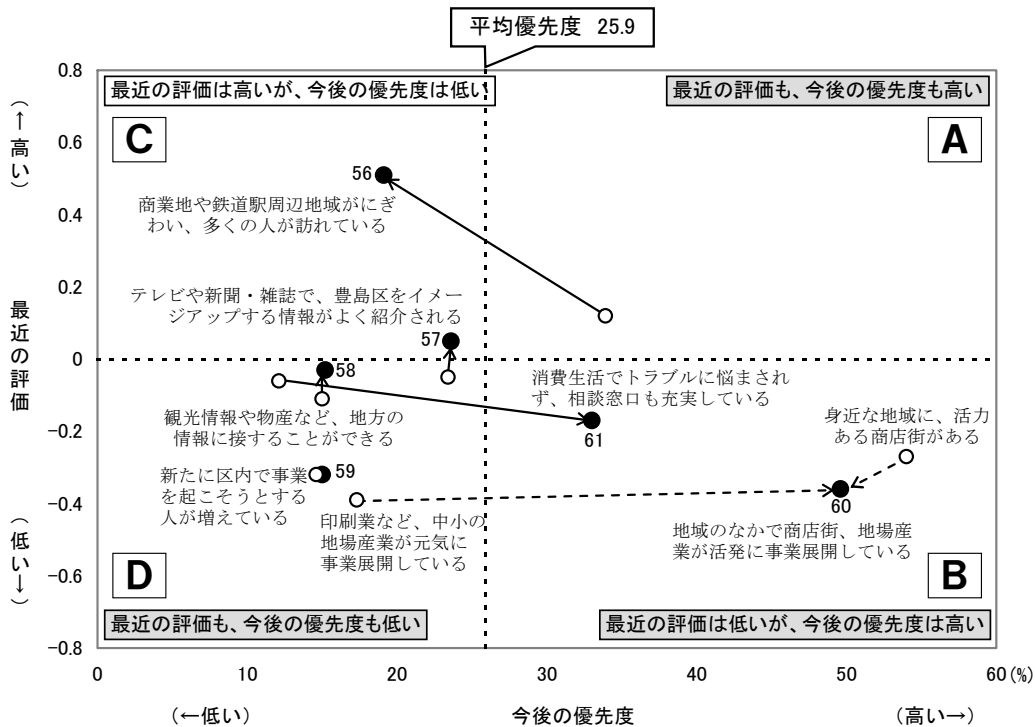
⑧ 安心・安全

- 安心・安全に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



⑨ 観光・産業

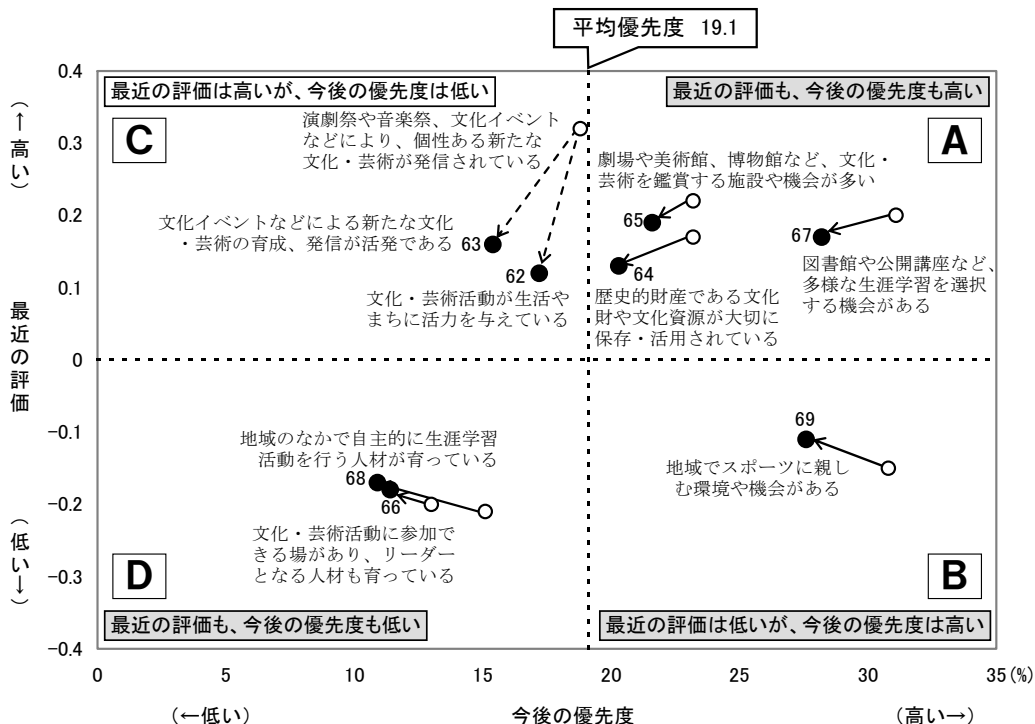
- 観光・産業に関する生活環境では、「消費生活トラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」の今後の優先度が高くなり、「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」から「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。



※「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」は、前は「身近な地域に、活力ある商店街がある」と「印刷業など、中小の地場産業が元気に事業展開している」であった。

⑩ 文化

- 文化に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



※「文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である」と「文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている」は、前は「演劇祭や音楽祭、文化イベントなどにより、個性ある新たな文化・芸術が発信されている」であった。

4. 区民意識調査と重点施策の比較

① 福祉

政策	施策 (網掛けが重点施策)	2010 調査			2007 調査			比較分析
		評価	優先度	領域	評価	優先度	領域	
1-1 地域福祉の推進								
	①福祉コミュニティの形成	-0.11	27.3	D	-0.08	25.8	D	ニーズに大きな変化は見られない
	②地域ケアシステムの構築	-0.14	44.1	★B	-0.18	44.2	★B	
	③保健福祉サービスの利用支援と質の確保	-0.12	23.5	D	-0.17	22.0	D	
	④地域福祉と関係制度との連携	-0.14	21.0	D	—	—	—	
1-2 高齢者・障害者の自立支援								
	①自立支援体制の整備	-0.14	38.2	★B	-0.18	39.7	★B	ニーズに大きな変化は見られないが④に対するニーズが高くなってきている
	②介護予防の推進	-0.16	23.6	D	-0.19	23.6	D	
	③社会参加の促進	-0.13	28.6	D	-0.24	28.2	D	
	④福祉サービス等の基盤整備	-0.17	40.0	B	0.05	38.5	A	
					-0.12	30.0	D	

② 健康

政策	施策 (網掛けが重点施策)	2010 調査			2007 調査			比較分析
		評価	優先度	領域	評価	優先度	領域	
1-3 健康								
	①健康づくりの推進	-0.06	36.6	D	-0.16	39.4	D	ニーズに大きな変化はみられない
	②多様化する保健課題への対応	0.12	52.3	A	0.06	52.8	A	
	③健康危機管理	0.22	12.9	C	0.24	11.8	C	
	④地域医療の充実	0.06	60.9	A	0	59.4	B	

③ 子育て

政策	施策 (網掛けが重点施策)	2010 調査			2007 調査			比較分析
		評価	優先度	領域	評価	優先度	領域	
2-1 子どもの権利保障								
	①子どもの権利の確立	-0.05	13.4	D	-0.30	30.7	B	②に対するニーズが明確化している
	②安全な生活の保障	-0.21	26.2	★B				
	③遊びと交流の保障	-0.09	21.2	D				
2-2 子育て環境の充実								
	①総合相談体制の推進	-0.10	21.4	D	-0.17	24.5	D	ニーズに大きな変化が見られない
	②多様な保育ニーズへの対応	-0.08	39.6	★B	-0.06	36.7	★B	
	③サービス提供システムの整備	-0.17	28.0	B	-0.25	34.7	B	

④ 教育

政策	施策 (網掛けが重点施策)	2010 調査			2007 調査			比較分析
		評価	優先度	領域	評価	優先度	領域	
2-4 学校における教育								
	①生きる力をはぐくむ教育の推進	-0.20	31.9	★B	-0.36	21.6	D	二ーズに大きな変化が見られない
	②魅力ある学校づくり	-0.09	15.1	D	-0.15	15.6	D	
	③教育環境の整備	0.13	13.4	C	0.07	9.7	C	
	④学校にかかわる安全対策	0.05	20.9	C	-0.08	21.6	D	
2-5 地域における教育								
	①家庭・地域の教育活動の推進	-0.24	36.7	★B	-0.43	38.1	★B	二ーズに大きな変化が見られない
	②地域に開かれた学校の推進	0.21	13.3	C	0.17	12.4	C	

⑤ コミュニティ

政策	施策 (網掛けが重点施策)	2010 調査			2007 調査			比較分析
		評価	優先度	領域	評価	優先度	領域	
3-1 心ふれあうコミュニティ								
	①地域活動への参加促進	-0.13	25.9	B	-0.18	36.7	D	二ーズに明確な差が見られないが、その中では②が高い
	②地域住民相互の交流の促進	-0.22	38.6	★B	-0.34	46.2	★B	
	③地域活動の活性化と連携の促進	-0.07	24.7	B	-0.11	31.5	D	
	④協働の仕組みづくり	-0.21	23.4	B	-0.31	37.7	D	
	⑤外国人との共生	-0.53	10.0	D	—	—	—	

⑥ 環境

政策	施策 (網掛けが重点施策)	2010 調査			2007 調査			比較分析
		評価	優先度	領域	評価	優先度	領域	
4-1 みどりの創造と保全								
	①みどりの拠点拡大	-0.23	47.0	★B	-0.39	43.8	★B	二ーズに大きな変化が見られない
	②みどりのネットワーク	0	35.6	D	-0.19	25.9	D	
					-0.13	23.5	D	
4-2 環境の保全								
	①都市公害の防止	-0.18	34.9	D	-0.37	32.0	D	二ーズに大きな変化が見られない
	②都市環境の保全	-0.40	37.9	★B	-0.55	48.5	★B	
	③地域美化の推進	-0.11	38.5	B	-0.29	35.8	B	
4-3 リサイクル・清掃事業の推進								
	①ごみ減量・リサイクルの推進	0.20	32.0	C	0.14	35.7	A	二ーズに明確な差が見られない
	②資源循環型清掃事業の推進	0.44	25.6	C	—	—	—	

⑦ 都市再生

政策	施策 (網掛けが重点施策)	2010 調査			2007 調査			比較分析
		評価	優先度	領域	評価	優先度	領域	
5-1	魅力あるまちづくりの推進							ニーズと重点施策がマッチしている
	①秩序ある市街地更新	-0.08	29.5	B	-311	29.7	B	
	②個性ある快適なまちづくり	-0.02	17.2	D	-193	14.8	D	
	③池袋副都心の再生	0.13	27.2	A	—	—	—	
		-0.05	27.3	★B	—	—	—	
	④活力ある地域拠点の整備	0.32	27.7	A	95	28.1	A	
5-2	魅力ある都心居住の場づくり							ニーズに明確な差が見られない
	①安心居住の仕組みづくり	-0.28	21.8	D	-0.36	24.1	D	
	②良質な住宅の供給誘導	-0.25	20.4	D	-0.34	19.0	D	
5-3	交通体系の整備							ニーズに大きな変化は見られない
	①道路・橋梁の整備と維持保全	0.03	30.7	A	-0.15	31.8	B	
	②自転車・自動車対策の推進	-0.02	35.1	★B	-0.21	39.5	★B	
	③公共交通の整備	0.75	12.4	C	0.74	12.0	C	

⑧ 安心・安全

政策	施策 (網掛けが重点施策)	2010 調査			2007 調査			比較分析
		評価	優先度	領域	評価	優先度	領域	
5-4	災害に強いまちづくりの推進							ニーズに大きな変化は見られない
	①防災行動力の向上と連携	-0.14	17.3	D	-0.09	18.1	D	
	②応急・復興活動を円滑に行う体制の整備	-0.20	43.0	B	-0.27	49.8	B	
	③災害に強い都市空間の形成	-0.29	32.6	★B	-0.41	52.8	★B	
	④総合治水対策の推進	0.23	11.4	C	0.37	7.6	C	
5-5	身近な安心と安全の確保							ニーズに大きな変化は見られない
	①治安対策	-0.03	51.0	★B	-0.07	50.6	★B	
					-0.25	19.2	D	
	②交通安全対策	0.10	12.4	C	0.07	10.3	C	

⑨ 観光・産業

政策	施策 (網掛けが重点施策)	2010 調査			2007 調査			比較分析
		評価	優先度	領域	評価	優先度	領域	
6-1	都市の魅力による集客力の向上							ニーズに明確な差が見られない
	①にぎわい魅力商工都市の形成	0.51	19.1	C	0.12	33.9	A	
	②観光まちづくりの推進	0.05	23.6	C	-0.05	23.4	D	
	③都市交流の推進	-0.03	15.2	D	-0.11	15.0	D	
6-2	産業振興による都市活力創出							ニーズに大きな変化は見られない
	①新たなビジネス展開の支援	-0.32	15.0	D	-0.32	14.6	D	
	②地域産業の活性化	-0.36	49.6	★B	-0.39	17.3	D	
					-0.27	54.0	★B	
	③消費者権利の実現支援	-0.17	33.0	B	—	—	—	

⑩ 文化

政策	施策 (網掛けが重点施策)	2010 調査			2007 調査			比較分析
		評価	優先度	領域	評価	優先度	領域	
7-1	文化によるまちづくりの推進							
	①文化によるまちの活性化	0.12	17.2	C	0.32	18.8	C	二ーズに明確な 差は見られない
	②新たな芸術・文化の創出	0.16	15.4	C				
	③伝統文化の継承	0.13	21.6	A	0.17	23.2	A	
7-2	芸術・文化の振興							
	①芸術・文化鑑賞機会の充実	0.19	11.4	A	0.22	23.2	A	二ーズに明確な 差が見られない
	②芸術・文化活動機会の充実	-0.18	28.2	D	-0.20	13.0	D	
7-3	生涯学習・生涯スポーツの推進							
	①生涯学習の環境整備	0.17	10.9	A	0.20	31.1	A	二ーズに大きな変 化は見られない
	②個の学びから社会的な学習活動への転換	-0.17	27.2	D	-0.21	15.1	D	
	③スポーツ・レクリエーション活動の充実	-0.11	22.2	★B	-0.15	30.8	★B	